

科目名	Basic Keyboard 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇田 隆 志
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	様々なアーティストをサポートしライブを行うキーボーディスト						
授業の学習 内容	キーボードを演奏する上での基礎を勉強する。 メロディックコンセプトと関連しているが、こちらでは主にコード、スケール、それぞれのジャンル特有のスタイルについても学ぶ。キーボード歴にかなり差があるので初心者へのフォローをする。						
到達目標	理論、実技の基礎的なものを習得する。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	基礎練習とキーボードの使用法を理解し実践できる	基礎練習とキーボードの使用法を理解し実演する
2		演習	基本のコードとコードネームを理解し実践できる	基本のコードとコードネームを理解し実演する
3		演習	G-C, Rock'n Roll, Bluesを理解し実践できる	G-C, Rock'n Roll, Bluesを理解し実演する
4		演習	きらきら星を理解し実践できる	きらきら星を理解し実演する
5		演習	ペントニック、リフを理解し実践できる	ペントニック、リフを理解し実演する
6		演習	Bluesについて理解し実践できる	Bluesについて理解し実演する
7		演習	メジャースケールとダイアトニックコード1を理解し実践できる	メジャースケールとダイアトニックコード1を理解し実演する
8		演習	メジャースケールとダイアトニックコード2を理解し実践できる	メジャースケールとダイアトニックコード2を理解し実演する
9		演習	マイナースケールを理解し実践できる	マイナースケールを理解し実演する
10		演習	Bossa Nova Dm7-G7 を理解し実践できる	Bossa Nova Dm7-G7 を理解し実演する
11		演習	Blues Em riffを理解し実践できる	Blues Em riffを理解し実演する
12		演習	Blues Em riffを理解し実践できる	Blues Em riffを理解し実演する
13		演習	いろいろな音色を使って演奏する。	音色の整理を行いサウンドをつくる
14		演習	いろいろな音色を使って演奏する。	音色の整理を行いサウンドをつくる
15		演習	試験	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			音楽理論全般を理解するための学習、演習の復習を繰り返す。週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Basic Keyboard 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇田 隆 志
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	様々なアーティストをサポートしライブを行うキーボーディスト						
授業の学習 内容	キーボードを演奏する上での基礎を勉強する。 メロディックコンセプトと関連しているが、こちらでは主にコード、スケール、それぞれのジャンル特有のスタイルについても学ぶ。キーボード歴にかなり差があるので初心者へのフォローをする。						
到達目標	理論、実技の基礎的なものを習得する。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	基礎練習とキーボードの使用法を理解し実践できる	基礎練習とキーボードの使用法を理解し実演する
2		演習	基本のコードとコードネームを理解し実践できる	基本のコードとコードネームを理解し実演する
3		演習	G-C, Rock'n Roll, Bluesを理解し実践できる	G-C, Rock'n Roll, Bluesを理解し実演する
4		演習	きらきら星を理解し実践できる	きらきら星を理解し実演する
5		演習	ペントニック、リフを理解し実践できる	ペントニック、リフを理解し実演する
6		演習	Bluesについて理解し実践できる	Bluesについて理解し実演する
7		演習	メジャースケールとダイアトニックコード1を理解し実践できる	メジャースケールとダイアトニックコード1を理解し実演する
8		演習	メジャースケールとダイアトニックコード2を理解し実践できる	メジャースケールとダイアトニックコード2を理解し実演する
9		演習	マイナースケールを理解し実践できる	マイナースケールを理解し実演する
10		演習	Bossa Nova Dm7-G7 を理解し実践できる	Bossa Nova Dm7-G7 を理解し実演する
11		演習	Blues Em riffを理解し実践できる	Blues Em riffを理解し実演する
12		演習	Blues Em riffを理解し実践できる	Blues Em riffを理解し実演する
13		演習	いろいろな音色を使って演奏する。	音色の整理を行いサウンドをつくる
14		演習	いろいろな音色を使って演奏する。	音色の整理を行いサウンドをつくる
15		演習	試験	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			音楽理論全般を理解するための学習、演習の復習を繰り返す。週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Band Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 森本 繁 来 由 原 田 佳
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴						
授業の学習内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、スタンダードの楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではスタンダード音楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なスタンダード音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる					
評価方法と基準	実技による採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スタンダードの特徴を理解し実践する。	スタンダードの特徴を理解し実演する・
2		演習	スタンダードの特徴を理解しアンサンブルで実践する。	スタンダードの特徴を理解し実演する・
3		演習	ネオアコースティックを用いて表現する。	ネオアコースティックを理解し実演する・
4		演習	ネオアコースティックのアンサンブルを実践できる。	ネオアコースティックを理解し実演する・
5		演習	90年代POPSを用いてアレンジを研究し実践できる。	90年代スタンダードを理解し実演する
6		演習	90年代POPSを用いてアンサンブルを学び実践できる。	90年代スタンダードを理解し実演する
7		演習	80年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
8		演習	80年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
9		演習	70年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
10		演習	70年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
11		演習	70年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	70年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
12		演習	80年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	80年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を理解し実演する・
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを理解し実演する・
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するスタンダードアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Band Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 森本 繁 来 由 原 佳
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴						
授業の学習内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、スタンダード楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではスタンダード楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なスタンダード音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる					
評価方法と基準	実技による採点100%					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し説明ができる。	シンガーソングライターの名曲を調べて分析しレポート作成	
2		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。	
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。	
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。	
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。	
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。	
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。	
9		演習	スタンダードバラードを分析し演奏できる。	スタンダードバラードを分析し実演する。	
10		演習	スタンダードバラードをアンサンブルで演奏できる。	スタンダードバラードをアンサンブルを分析し実演する。	
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。	
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。	
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。	
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。	
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成	
準備学習 時間外学習			業界で活躍するスタンダードアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Piano Duo 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 潤 豊 宇田 隆志
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴						
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、ピアノと歌のアンサンブルを重点的に学ぶことが望ましい。本講義ではいくつかのピアノパターンにあわせた歌唱法を学び表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なアンサンブルスキルを習得し実践できる。					
評価方法と基準	実技による採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	POPSリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
2		演習	POPSリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
3		演習	JAZZリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
4		演習	JAZZリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
5		演習	ROCKリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
6		演習	ROCKリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
7		演習	サンバ系リズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
8		演習	サンバ系リズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
9		演習	フリーのリズムを感じながらの表現法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
10		演習	フリーのリズムを感じながらのアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
11		演習	JAZZリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
12		演習	JAZZリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
13		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
14		演習	歌からスタートする音楽を学び実践できる	歌からスタートする音楽を学び実践できる
15		演習	試験	1-14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			アンサンブル力を身につける、リズムをよくするための繰り返し練習、週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 潤 豊 宇田 隆志
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴						
授業の学習内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通してアンサンブル力を育てる					
到達目標	譜面を見ながら演奏もしくは歌唱できるようになる。					
評価方法と基準	実技試験100%					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	POPSリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
2		演習	POPSリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
3		演習	JAZZリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
4		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
5		演習	ROCKリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
6		演習	ROCKリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
7		演習	サンバ系リズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。	
8		演習	サンバ系リズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。	
9		演習	フリーのリズムを感じながらの高度な表現法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
10		演習	フリーのリズムを感じながらの高度なアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
11		演習	JAZZリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
12		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
13		演習	JAZZリズムにあわせた高度な高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。	
14		演習	歌からスタートする高度な音楽を学び実践できる	歌からスタートする音楽を学び実践できる	
15		演習	試験	1-14をまとめてレポート作成	
準備学習 時間外学習			アンサンブル力を身につける、リズムをよくするための繰り返し練習、週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Dance for Singer 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	木本 雄
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストのLiveや舞台のダンサー・振付						
授業の学習 内容	曲に合わせてのリズムトレーニング、およびステージングから振り付けまで。						
到達目標	リズムを外さず、ステージ上でのパフォーマンスにぎこちなさを無くす。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	試験と復習	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	試験総括(改善点を知る)	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			正しい英語の発音、リズム、表現力を養うための繰り返し練習、週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for Singer 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	木本 雄
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	アーティストのLiveや舞台のダンサー・振付						
授業の学習 内容	曲に合わせてのリズムトレーニング、およびステージングから振り付けまで。						
到達目標	リズムを外さず、ステージ上でのパフォーマンスにぎこちなさを無くす。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。	
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。	
14		演習	試験と復習		振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	試験総括(改善点を知る)		振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			正しい英語の発音、リズム、表現力を養うための繰り返し練習、週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷



科目名	Percussion 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大久保 宙
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ドラマー・パーカショニストとして23年						
授業の学習 内容	パーカッションの基礎的なスタンダードなリズムの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。 テンポの捉え方とリズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	パーカッションの基礎を習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーブに対する発見が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	コードアルペジオ:メジャー編を理解し演奏する。	コードアルペジオ:メジャー編を復習する。
2		演習	コードアルペジオ:メジャー編を理解し演奏する。	コードアルペジオ:メジャー編を復習する。
3		演習	コードアルペジオ:マイナー編を理解し演奏する。	コードアルペジオ:マイナー編を復習する。
4		演習	コードネーム理解方を理解し演奏する。	コードネーム理解方を理解し演奏する。
5		演習	キーの概念を理解し演奏する。	キーの概念を復習する。
6		演習	ダイアトニックコードを理解し演奏する。	ダイアトニックコードを復習する。
7		演習	コード進行の解釈を理解し演奏する。	コード進行の解釈を復習する。
8		演習	リズムパターンを理解し演奏する。	リズムパターンを復習する。
9		演習	シャッフルについてを理解し演奏する。	シャッフルについてを復習する。
10		演習	ブルースについてを理解し演奏する。	ブルースについてを復習する。
11		演習	ペンタトニックスケールを理解し演奏する。	ペンタトニックスケールを復習する。
12		演習	ブルーススケールに理解し演奏する。	ブルーススケールを復習する。
13		演習	ブルースセッションを理解し演奏する。	ブルースセッションを復習する。
14		演習	モーダルとコードルを理解し演奏する。	モーダルとコードルを復習する。
15		演習	自由演奏を理解し演奏する。	自由演奏を復習する。
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Percussion 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大久保 宙
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ドラマー・パーカショニストとして23年						
授業の学習 内容	パーカッションの基礎的なスタンダードなリズムの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。 テンポの捉え方とリズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	パーカッションの基礎を習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーブに対する発見が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	シャッフルビートのリズム的な捉え方とジャンルとの関係について説明する。(エクササイズ)		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
2		演習	トリプレットフィルのリズムの捉え方と楽曲について説明する。(エクササイズ)		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
3		演習	トリプレットフィルのリズムの捉え方と楽曲について説明する。(エクササイズ)		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
4		演習	ハンマーオンとブルオフの使用によるグルーブ的な感じ方の違いを説明する。		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
5		演習	ハンマーオンとブルオフの使用によるグルーブ的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ)		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
6		演習	スライドダウン、スライドアップを使用によるグルーブ的な感じ方の違いを説明する。		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
7		演習	スライドダウン、アップを使用によるグルーブ的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ)		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
8		演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンについて説明する。		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
9		演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンを体得する。(エクササイズ)		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
10		演習	バウンス・ビートのリズム的な捉え方と基本的なパターンを説明する。		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
11		演習	バウンス・ビートの基本的なパターンを体得する。(エクササイズ)		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
12		演習	ゴーストノートを使用した時のグルーブ的な違いを説明する。		次のChapterのエクササイズの練習、未達成箇所の復習
13		演習	ゴーストノートを使用した時のグルーブ的な違いを体得する。(エクササイズ)		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
14		演習	前期に学んだ基礎的なビートを使用した上で後期に学んだ装飾音符や音楽記号を用いて演奏する		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
15		演習	前期に学んだ基礎的なビートを使用した上で後期に学んだ装飾音符や音楽記号を用いて演奏する		次のChapterの予習と練習、未達成箇所の復習
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Rock Seminar 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	嶋田 恭 子
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	本校卒業後ヴォーカリストとしてメジャーデビュー。バンド活動・作詞作曲を行い、活動中。						
授業の学習 内容	Vocalistとして必要な基本テクニックや、リズム感、音感、パフォーマンスを含め、人を魅了できるvocalistを総合的に目指す授業。体が楽器だということを忘れずに、メンタルや歌い手としてのスキルアップ。アンサンブルやステージで生かせる技術を習得。長く歌えるVocalistを目指す。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なROCK音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ROCKの特徴を理解し実践する。	ROCKの特徴を理解し実演する・
2		演習	ROCKの特徴を理解しアンサンブルで実践する。	ROCKの特徴を理解し実演する・
3		演習	ネオアコースティックを用いて表現する。	ネオアコースティックを理解し実演する・
4		演習	ネオアコースティックのアンサンブルを実践できる。	ネオアコースティックを理解し実演する・
5		演習	90年代POPSを用いてアレンジを研究し実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
6		演習	90年代POPSを用いてアンサンブルを学び実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
7		演習	80年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
8		演習	80年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
9		演習	70年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
10		演習	70年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
11		演習	70年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	70年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
12		演習	80年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	80年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を理解し実演する・
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを理解し実演する・
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するROCKアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Seminar 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	嶋田 恭 子
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	本校卒業後ヴォーカリストとしてメジャーデビュー。バンド活動・作詞作曲を行い、活動中。						
授業の学習 内容	Vocalistとして必要な基本テクニックや、リズム感、音感、パフォーマンスを含め、人を魅了できるvocalistを総合的に目指す授業。体が楽器だということを忘れずに、メンタルや歌い手としてのスキルアップ。アンサンブルやステージで生かせる技術を習得。長く歌えるVocalistを目指す。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なROCK音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し説明ができる。	シンガーソングライターの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	ROCKバラードを分析し演奏できる。	ROCKバラードを分析し実演する。
10		演習	ROCKバラードをアンサンブルで演奏できる。	ROCKバラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するROCKアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	J-POP Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、J-POPの楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではJ-POP音楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なJ-POP音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	J-POPの特徴を理解し実践する。	J-POPの特徴を理解し実演する・
2		演習	J-POPの特徴を理解しアンサンブルで実践する。	J-POPの特徴を理解し実演する・
3		演習	ネオアコースティックを用いて表現する。	ネオアコースティックを理解し実演する・
4		演習	ネオアコースティックのアンサンブルを実践できる。	ネオアコースティックを理解し実演する・
5		演習	90年代POPSを用いてアレンジを研究し実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
6		演習	90年代POPSを用いてアンサンブルを学び実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
7		演習	80年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
8		演習	80年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
9		演習	70年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
10		演習	70年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
11		演習	70年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	70年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
12		演習	80年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	80年代のアレンジの特徴を理解し実演する・
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を理解し実演する・
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを理解し実演する・
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するJ-POPアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、J-POPの楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではJ-POP音楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なJ-POP音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し説明ができる。	シンガーソングライターの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	J-POPバラードを分析し演奏できる。	J-POPバラードを分析し実演する。
10		演習	J-POPバラードをアンサンブルで演奏できる。	J-POPバラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するJ-POPアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	Vocal Technique 1	必修 選択	年次	2	担当教員	細井康行
学科・コース		授業 形態	総時間 (単位)			
教員の略歴						
授業の学習内容	英語の発音、ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱において英語の発音力向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	実技による採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		演習	ROCKリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認をし練習しておく。		
2		演習	JAZZのリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認確認をし練習しておく。		
3		演習	R&Bリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	R&Bリズムのバリエーションを復習し実践する。		
4		演習	サンバ系ミュージックの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	サンバ系ミュージックリズムのバリエーションを復習し実践する		
5		演習	POPSリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	POPSリズムのバリエーションを復習し実践する		
6		演習	JAZZのリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	JAZZのリズムのバリエーションを復習し実践する		
7		演習	ヴォーカル主体でリズム、グルーブを作ってリード表現が実践できる	課題曲の歌詞Aパートを覚え復習し実践する		
8		演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへ表現が実践できる	課題曲の歌詞Bパートを覚え復習し実践する		
9		演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへ表現が実践できる	課題曲の歌詞Cパートを覚え復習し実践する		
10		演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できる表現が実践できる	課題曲の歌詞全てを覚え復習し実践する		
11		演習	発表会の曲を演奏表現が実践できる	課題曲の歌詞全てを覚え復習し実践する		
12		演習	英語の母音、子音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認をし練習しておく。		
13		演習	英語の母音、子音レクチャー、表現が実践できる	英語を発音するための研究800-1000字以内でレポート作成。		
14		演習	ROCKリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	ROCKリズムのバリエーション確認をし練習しておく。		
15		演習	学期末試験及び復習。	振り返りを行いレポート作成		
準備学習 時間外学習			正しい英語の発音、リズム、表現力を養うための繰り返し練習、週4時間			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	Vocal Technique 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	細井康行
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	英語の発音、ボイストレーニング、および、歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、歌唱において英語の発音力向上、基礎力の定着及び、応用力とアーティストとしての表現力の向上						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	ROCKリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認をし練習しておく。	
2		演習	JAZZのリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認確認をし練習しておく。	
3		演習	R&Bリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	R&Bリズムのバリエーションを復習し実践する。	
4		演習	サンバ系ミュージックの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	サンバ系ミュージックリズムのバリエーションを復習し実践する	
5		演習	POPSリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	POPSリズムのバリエーションを復習し実践する	
6		演習	JAZZのリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	JAZZのリズムのバリエーションを復習し実践する	
7		演習	ヴォーカル主体でリズム、グルーブを作ってリード表現が実践できる	課題曲の歌詞Aパートを覚え復習し実践する	
8		演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できる表現が実践できる	課題曲の歌詞Bパートを覚え復習し実践する	
9		演習	ヴォーカル主体でリズム、グルーブを作ってリード表現が実践できる	課題曲の歌詞Cパートを覚え復習し実践する	
10		演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できる表現が実践できる	課題曲の歌詞全てを覚え復習し実践する	
11		演習	発表会の曲を演奏表現が実践できる	課題曲の歌詞全てを覚え復習し実践する	
12		演習	英語の母音、子音レクチャー、表現が実践できる	英語の母音、子音の表現確認をし練習しておく。	
13		演習	英語の母音、子音レクチャー、表現が実践できる	英語を発音するための研究800-1000字以内でレポート作成。	
14		演習	ROCKリズムの英語歌詞の発音、母音レクチャー、表現が実践できる	ROCKリズムのバリエーション確認をし練習しておく。	
15		演習	学期末試験及び復習。	振り返りを行いレポート作成	
準備学習 時間外学習			正しい英語の発音、リズム、表現力を養うための繰り返し練習、週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					



科目名	Rock Seminar 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	嶋田 恭 子
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	本校卒業後ヴォーカリストとしてメジャーデビュー。バンド活動・作詞作曲を行い、活動中。						
授業の学習 内容	Vocalistとして必要な基本テクニックや、リズム感、音感、パフォーマンスを含め、人を魅了できるvocalistを総合的に目指す授業。体が楽器だということを忘れずに、メンタルや歌い手としてのスキルアップ。アンサンブルやステージで生かせる技術を習得。長く歌えるVocalistを目指す。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なROCK音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し説明ができる。	シンガーソングライターの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	ROCKバラードを分析し演奏できる。	ROCKバラードを分析し実演する。
10		演習	ROCKバラードをアンサンブルで演奏できる。	ROCKバラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	テストと復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するROCKアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	Rock Seminar 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	嶋田 恭 子
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	本校卒業後ヴォーカリストとしてメジャーデビュー。バンド活動・作詞作曲を行い、活動中。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤 豊 國末 慶 宏
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界で活躍していく為には、ピアノと歌のアンサンブルを重点的に学ぶことが望ましい。本講義ではいくつかのピアノパターンにあわせた歌唱法を学び表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なアンサンブルスキルを習得し実践できる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	POPSリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
2		演習	POPSリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
3		演習	JAZZリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
4		演習	JAZZリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
5		演習	ROCKリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
6		演習	ROCKリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
7		演習	サンバ系リズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
8		演習	サンバ系リズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
9		演習	サンバ系リズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
10		演習	フリーのリズムを感じながらのアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
11		演習	JAZZリズムにあわせた表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
12		演習	JAZZリズムにあわせたアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
13		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
14		演習	歌からスタートする音楽を学び実践できる	歌からスタートする音楽を学び実践できる
15		演習	学期末試験及び復習。	1-14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			アンサンブル力を身につける、リズムをよくするための繰り返し練習、週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	Piano Duo 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤 豊 國末 慶 宏
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通してアンサンブル力を育てる						
到達目標	譜面を見ながら演奏もしくは歌唱できるようになる。						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	POPSリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
2		演習	POPSリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	POPSリズムにあわせた歌を復習し実演する。
3		演習	JAZZリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
4		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
5		演習	ROCKリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
6		演習	ROCKリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	ROCKリズムにあわせた歌を復習し実演する。
7		演習	サンバ系リズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
8		演習	サンバ系リズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	サンバ系リズムにあわせた歌を復習し実演する。
9		演習	サンバ系リズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
10		演習	フリーのリズムを感じながらの高度なアドリブ法を習得し実践できる。	フリーのリズムにあわせた歌を復習し実演する。
11		演習	JAZZリズムにあわせた高度な表現法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
12		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
13		演習	JAZZリズムにあわせた高度なアドリブ法を習得し実践できる。	JAZZリズムにあわせた歌を復習し実演する。
14		演習	歌からスタートする高度な音楽を学び実践できる	歌からスタートする音楽を学び実践できる
15		演習	学期末試験及び復習。	1-14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Performance for Rock 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川上 真樹
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	1992年よりヴォーカリストとして活動						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
方法と基準	実技による採点100%						

授業 計画・ 内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。		FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。		FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。		R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。		R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。		エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。		エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。		同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。		同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。		バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。		バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。		ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。		ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。		シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。		シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習		1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Performance for Rock 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川上 真樹
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	1992年よりヴォーカリストとして活動						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
方法と基準	実技による採点100%						

授業 計画・ 内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Funk Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤 敬 三 田原 佑 一朗
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Funk Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤 敬 三 田原 佑 一朗
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Soul & Pops Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤 豊 木村 薫
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Soul & Pops Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 潤 豊 木村 薫
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。					
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。					
評価方法と基準	実技による採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	國末 慶 大渡 亮
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。						
評価方法と基準	定期テスト、実技60%(後期で学んだ内容を演奏に織り交ぜることができる) 授業態度40%(後期に学んだ内容を説明することができる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	國末 慶 大渡 亮
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	定期テスト、実技60%(後期で学んだ内容を演奏に織り交ぜることができる) 授業態度40%(後期に学んだ内容を説明することができる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	FUNKの名曲を分析し説明ができる。	FUNKの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	FUNKの名曲を分析し演奏する。	FUNKの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	R&B Ensemble 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	國末 慶 大渡 亮
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。						
評価方法と基準	定期テスト、実技60%(後期で学んだ内容を演奏に織り交ぜることができる) 授業態度40%(後期に学んだ内容を説明することができる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	R&Bの名曲を分析し説明ができる。	R&Bの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	R&Bの名曲を分析し演奏する。	R&Bの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	R&B Ensemble 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	國末 慶 大渡 亮
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	定期テスト、実技60%(後期で学んだ内容を演奏に織り交ぜることができる) 授業態度40%(後期に学んだ内容を説明することができる)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	R&Bの名曲を分析し説明ができる。	R&Bの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	R&Bの名曲を分析し演奏する。	R&Bの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	バラードを分析し演奏できる。	バラードを分析し実演する。
10		演習	バラードをアンサンブルで演奏できる。	バラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	実技テスト及び後期内容の復習	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			楽器における様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Chorus Work 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	細井 康 行
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	1.ロック、ポップス曲にも対応できるハーモニー感覚の基礎を習得する。 2.コードを使い音感と耳を鍛える 実践に使える講義を実施する。						
到達目標	1.ハーモニーの基本とされる3度のハーモニーを習得する。 2.5.6.7度等の難易度が高いハーモニーを習得する。 3.ユニゾン、オクターブユニゾンのハーモニーを習得する。 4.人が歌っている曲に自動的にハーモニーを載せる事ができるようにする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	基本である姿勢、呼吸、体幹を学び実践できる。	基本である姿勢、呼吸、体幹を学び実践し動画でチェックする。
2		演習	様々なコードを使い音感を鍛えて実践できる。	様々なコードを使い音感を鍛えて実践し動画でチェックする。
3		演習	コードを使ったハーモナイズを実践できる	コードを使ったハーモナイズを実践し動画でチェックする。
4		演習	基本の3度ハーモニーを理解し実践できる	基本の3度ハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
5		演習	4.5.6.7度のハーモニーを理解し実践できる	4.5.6.7度のハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
6		演習	楽曲を使いハーモニーを理解し実践できる	楽曲を使いハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
7		演習	楽曲を更に深めを理解し実践できる	楽曲を更に深めを理解し実践し動画でチェックする。
8		演習	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践できる	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
9		演習	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践できる	ロックのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
10		演習	ポップスのリズムでハーモニーを理解し実践できる	ポップスのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
11		演習	R&Bのリズムでハーモニーを理解し実践できる	R&Bのリズムでハーモニーを理解し実践し動画でチェックする。
12		演習	JAZZのリズムでハーモニーを理解し実践できる	JAZZのリズムでハーモニーを実践し動画でチェックする。
13		演習	JAZZのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践できる	JAZZのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践し動画でチェックする。
14		演習	R&Bのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践できる	R&Bのリズムでハーモニーのアドリブを理解し実践し動画でチェックする。
15		演習	学期末試験及び復習。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
準備学習 時間外学習			コーラスワークに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	Chorus Work 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	細井 康 行
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	1.前期に学んだ内容を更に深め仕事の現場で使える力を養う 2.ア・カペラ含む更に高度な技術を身に付ける 3.譜面を使い初見カトレーニング						
到達目標	1.読譜力、初見力をトレーニングし現場で実践に繋げる力を養う 2.どんな曲にもハーモニーを付けられる実力を付ける 3.ハーモニーを通して、音感、リズム感、自身の歌唱力も向上させる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	課題曲実践を学び実践できる。	課題曲実践を学び実践し動画でチェックする。
2		演習	前週の復習で修正や内容の掘り下げを学び実践できる。	前週の復習で修正や内容の掘り下げを学び実践し動画でチェックする。
3		演習	1人1人課題曲を決めハーモニー付けを学び実践できる。	1人1人課題曲を決めハーモニー付けを学び実践し動画でチェックする。
4		演習	前週の引き続きを学び実践できる。	前週の引き続きを学び実践し動画でチェックする。
5		演習	ア・カペラで音感を学び実践できる。	ア・カペラで音感を学び実践し動画でチェックする。
6		演習	様々な楽曲をア・カペラを学び実践できる。	様々な楽曲をア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
7		演習	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践し動画でチェックする。
8		演習	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践できる。	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
9		演習	グループを作り色々な人とハーモニーを理解し実践できる	前週のア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
10		演習	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践できる。	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
11		演習	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。	ア・カペラを使ってグルーブ感ピッチ感矯正を学び実践できる。
12		演習	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践できる。	少人数～大人数でのア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
13		演習	前週のア・カペラを学び実践できる。	前週のア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
14		演習	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践できる。	クラブやスナップ取り入れてア・カペラを学び実践し動画でチェックする。
15		演習	学期末試験及び復習。	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
準備学習 時間外学習			コーラスワークに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷



科目名	Original song 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大渡 亮
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、ギタリストとして活動						
授業の学習 内容	音楽業界で活躍していく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作詞、アレンジの能力が必要となる。本講義では作詞の基礎とその使用方法を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な作詞の基礎を習得し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	歌謡曲の考察と実技基礎を習得し実践できる。	20曲以上の歌謡曲の歌詞を調べレポート作成
2		講義	邦楽歌謡曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の歌謡曲の歌詞を調べレポート作成
3		講義	邦楽ロック曲の考察と実技基礎を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ロック曲の歌詞を調べレポート作成
4		講義	邦楽ロック曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ロック曲の歌詞を調べレポート作成
5		講義	邦楽ポップスの考察と実技基礎を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
6		講義	邦楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
7		講義	洋楽ポップスの考察と実技基礎を習得し実践できる。	20曲以上の洋楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
8		講義	洋楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の洋楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
9		講義	邦楽歌謡曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上のジャズの歌詞を調べレポート作成
10		講義	洋楽ジャズの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上のジャズの歌詞を調べレポート作成
11		講義	韻を踏む技術を習得し実践できる。	押韻している楽曲を10曲調べレポート作成
12		講義	歌詞のリズムをを習得し実践できる。	歌詞を譜面におこしてみる3曲以上調べ譜面作成
13		講義	歌詞のリズムをを習得し実践できる。	歌詞を譜面におこしてみる3曲以上調べ譜面作成
14		講義	高度な韻を踏む技術の使い方を習得し実践できる。	作品提出準備
15		講義	学期末試験及び復習。	作品提出
準備学習 時間外学習			業界で活躍する作詞のスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Original song 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大渡 亮
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4		
教員の略歴	サウンドプロデューサー、ギタリストとして活動						
授業の学習 内容	音楽業界で活躍していく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作詞、アレンジの能力が必要となる。本講義では作詞の応用とその使用方法を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な作詞の応用を習得し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	歌謡曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の歌謡曲の歌詞を調べレポート作成
2		講義	高度な邦楽歌謡曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の歌謡曲の歌詞を調べレポート作成
3		講義	邦楽ロック曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ロック曲の歌詞を調べレポート作成
4		講義	高度な邦楽ロック曲の考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ロック曲の歌詞を調べレポート作成
5		講義	邦楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
6		講義	高度な邦楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の邦楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
7		講義	洋楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の洋楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
8		講義	高度な洋楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上の洋楽ポップスの歌詞を調べレポート作成
9		講義	洋楽ポップスの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上のジャズの歌詞を調べレポート作成
10		講義	高度な洋楽ジャズの考察と実技応用を習得し実践できる。	20曲以上のジャズの歌詞を調べレポート作成
11		講義	韻を踏む技術を習得し実践できる。	押韻している楽曲を10曲調べレポート作成
12		講義	高度な歌詞のリズムを習得し実践できる。	歌詞を譜面におこしてみる3曲以上調べ譜面作成
13		講義	歌詞のリズムを習得し実践できる。	歌詞を譜面におこしてみる3曲以上調べ譜面作成
14		講義	高度な韻を踏む技術の使い方を習得し実践できる。	作品提出準備
15		講義	学期末試験及び復習。	作品提出
準備学習 時間外学習			業界で活躍する作詞のスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				